

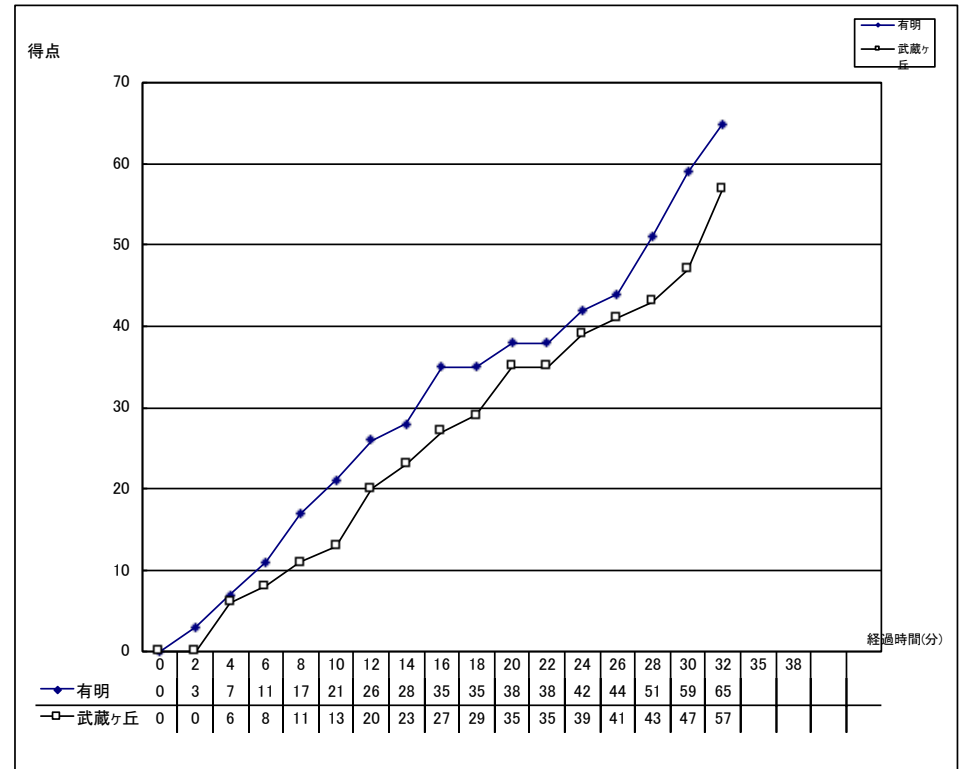
令和3年度 熊本県中学校夏季総合体育大会

個人データ表

女子 準決勝	令和3年7月18日 会場： 熊本市総合体育館 主審： 徳丸昂	Aコート 副審： 奥村健吾 平本康弘	9:00 開始 第1試合												
☆ 有明 荒尾・玉名	65	<table border="1"> <tr><td>17</td><td>1 Q</td><td>11</td></tr> <tr><td>18</td><td>2 Q</td><td>16</td></tr> <tr><td>7</td><td>3 Q</td><td>12</td></tr> <tr><td>23</td><td>4 Q</td><td>18</td></tr> </table>	17	1 Q	11	18	2 Q	16	7	3 Q	12	23	4 Q	18	57 武蔵ヶ丘 菊池
17	1 Q	11													
18	2 Q	16													
7	3 Q	12													
23	4 Q	18													

有明												
番号	氏名	得点	3P	3P試投	2P	2P試投	FT	FT試投	反則	DF. RE	OF. RE	RE計
4	宮本 柚希	6	1	2	1	3	1	1	3			
○ 5	吉田 怜華	4			2	3			1	1		1
○ 6	園田 朋佳	12	2	4	2	4	2	3	3	3		3
○ 7	古田 千夏	18			9	17			3	4	2	6
○ 8	古閑 心南	10			4	9	2	2	4	4	1	5
9	三滝 穂乃華											
10	木山 瑠璃								1			
11	遠山 かぐみ											
○ 12	矢加部 乃彩	15			5	10	5	7	4	3	2	5
13	中尾 花蓮											
14	島村 聖那											
15	遠山 ななみ											
16	土田 夏七海											
17	山本 依奈											
18	高田 みらい											
コーチ	園田 泰史											
合計		65	3	6	23	46	10	13	19	15	5	20
成功率			50.0%		50.0%		76.9%					

武蔵ヶ丘												
番号	氏名	得点	3P	3P試投	2P	2P試投	FT	FT試投	反則	DF. RE	OF. RE	RE計
○ 4	緒方 真夏花	12			5	11	2	4	1			
5	光本 萌々花											
6	山口 蒼彩											
7	甲斐 美凜花											
○ 8	増田 美結	9			4	12	1	4	4	5	11	16
9	松村 琳愛											
10	甲斐 鈴葉								1		1	1
○ 11	塚部 連	13	1	13	4	8	2	3	3	4		4
○ 12	岩本 奈々依	9			3	9	3	5	2		6	6
○ 13	津 明日菜	14		2	6	17	2	2	2	4	4	8
14	坂梨 心優											
15	福地 胡々音											
16	塚本 遥那											
17	松原 椋花											
18	北森 可恋											
コーチ	#REF!											
合計		57	1	15	22	57	10	18	13	13	22	35
成功率			6.7%		38.6%		55.6%					



<<戦評>>

女子準決勝は、6月の県大会を制している有明中と、1、2回戦の接戦を勝ち上がった武蔵ヶ丘の対戦となった。
1Q:ゲーム開始して2分ほど0-0が続く。有明#6の3Pで試合が動き始める。武蔵ヶ丘も#11のカットイン、#13のドライブインで加点。有明も#12のリバウンドショットなどで一進一退の攻防が続く。1Q残り2分からは有明#6のジャンプショット、#7のリバウンドショットで突き放し、17-11有明リードで1Qを終了する。

2Q:有明#7ジャンプショットが連続で決まり、点差を10点に広げる。武蔵ヶ丘は#8のリバウンドショットで加点後、ハイビックからのキックアウトで#11の3P、ハイビックからの#13ドライブで一時2点差までに詰め寄るものの、有明は#12のジャンプショット、#7の速攻で加点し、35-27で2Qを終了する。

3Q:武蔵ヶ丘の激しいディフェンスで有明の得点が伸びない。武蔵ヶ丘は、#13、#8のピックアンドロールを軸に攻め、ハーフコートプレスディフェンスからミス誘うなどして、3点差まで追い詰める。ラスト9秒、武蔵ヶ丘#12がフリースローを2本決めたが、有明は#7のドライブで加点し、43-39で3Qを終了する。

4Q:武蔵ヶ丘は有明#6をフェイスガードする。有明は、#7を起点にオフェンスを組み立て、1対1やドライブからのキックアウトで3Pが決まり、じわじわと点差を広げる。メディカルタイム後、武蔵ヶ丘はプレスディフェンスを仕掛けミス誘うが、ノーマークになった#6の3Pが決まる。残り1分、武蔵ヶ丘はオールコートでプレスを仕掛け粘りを見せたが、65-57で有明が勝利し、九州大会出場を決めた。
記録者 吉田嘉穂 (熊本県バスケットボール協会U15部会)